

## 平成29年度 第2回東成区区政会議「全体会議」

1 開催日時 平成29年12月15日（金） 19時00分から21時01分まで

2 開催場所 東成区民センター大ホール

3 出席者の氏名

### 【委員】

米原 俊夫（議長）、羽鹿 誠一（副議長）、阿形 正一、池田 カヅ子、石川 洋志、石田 和美、石塚 克哉、板垣 理恵子、井上 吉史、上田 具視、大谷 慶子、岡倉 三郎、神藤 加代子、末光 京子、高野 千壽子、高橋 芙美子、田中 良和、茶谷 儀夫、徳永 政喜、永門 武志、中谷 誓吾、鍋田 仁史、林 正則、福永 美和子、藤井 宣昭、藤溪 達夫、本間 良文、松田 好行、森井 フミ子、山口 晴康、吉谷 忠之、吉本 紀美子

### 【市会議員】

川嶋 広稔、岡崎 太、則清 ナヲミ

### 【府会議員】

徳永 慎市

### 【東成区役所】

麻野 篤（東成区長）、木口 剛一（東成区副区長）、足立 幸彦（総務課長）、中須賀 孝（総合企画担当課長）、原 敏浩（市民協働課長）、大野 聡（まちづくり担当課長）、西山 明子（保健福祉課長）、北野 紀子（児童・保健担当課長）、後藤 美里（総合企画担当課長代理）、植田 浩史（市民協働課長代理）、唐谷 栄起（まちづくり・にぎわい創造担当課長代理）、井上 徳久（まちづくり・教育支援担当課長代理）、花村 朋子（保健福祉課長代理）、大野

孝文（児童・保健担当課長代理）、細山 博文（保健福祉課担当係長）

#### 4 委員に意見を求めた事項

平成29年度東成区運営方針（素案）について

#### 5 議事内容（発言者氏名及び個々の発言内容）

○事務局 皆様、本日はお忙しい中、東成区区政会議にご出席を賜りまして、ありがとうございます。

ただいまから、平成29年度第2回東成区区政会議を開催いたします。

私は、東成区役所総務課総合企画担当の大藪でございます。議長及び副議長選出までの間、本会議の進行を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

まず冒頭に区長の麻野よりご挨拶させていただきます。

○麻野区長 皆さんこんばんは、東成区長の麻野と申します。よろしくお願いいたします。座って失礼させていただきます。本日は東成区区政会議に、皆様大変お寒い中、また何かとご多用の中、ご足労いただきまして誠にありがとうございます。また皆様におかれましては平素から市政、区政の各般に当たりまして、多大なるご協力と支援を賜っておりまして、あわせて感謝申し上げます。

今回、区政会議で新しく委員になられた方もいらっしゃいます。引き続き委員を引き受けていただいた方とあわせまして、感謝申し上げるとともに、皆様におかれましては区政会議のみならず、様々な機会にご指導、ご鞭撻をいただけたらと考えております。

今回、区政会議は平成29年度第2回となっております。会議の目的としましては、現在、区役所と市の各部局と、平成30年度、来年度の事業、予算について、もろもろ議論、協議を行いまして、今の時点でまとめました素案につきましてご説明させてい

ただいて、それで皆様にご議論いただき、またご意見を頂戴するということになっております。活発なご意見、ご議論をいただきたいと思います。なお先般来、委員の皆様から議論が活発になるような議事運営、議論の場作りに関するコメント、ご意見を頂戴しておりまして、今回から議事の進行方向を若干変えております。後ほど、事務方からのご説明になると思いますけれども、ご理解、ご協力の方をお願いいたしたいと考えております。

それでは早速ですけれども、私の方からイントロダクション導入といたしまして、今回の素案の策定に対しましての基本的な考え方ですとか、柱となります経営課題の説明をさせていただきたいと思っております。スライド出ますか。

失礼いたしました。もう一つ間に挟まりました、失礼します。

○事務局　皆様、こちらに入ります前に、まず会議の成立状況について、私の方から説明させていただきます。

本日の開催状況でございますが、委員43名中31名の委員のご出席をいただいております。したがって、区政会議の運営の基本となる事項に関する条例第7条第5項によりまして、本会議が有効に成立している旨、ご報告申し上げます。

続きまして、事前にお送りしました資料の確認をさせていただきます。よろしいでしょうか。まず次第です。その裏面には進行表がございます。本日の進行の流れとなっております。次に、資料1-1、1-2として配席図。資料2として部会委員名簿、3種類ございます。次に、資料3として平成30年度東成区運営方針（素案）概要。参考資料としましては大阪市共通の様式の平成30年度東成区運営方針（素案）でございます。また、本日2種類の資料を机上配付させていただいております。1つ目はこれから区長が説明します平成30年度東成区運営方針（素案）の概要についてという資料です。2つ目は東成区の概要という資料です。

以上になりますが不足はありませんでしょうか。ないようですので進めさせていただきます。

本日は、10月1日から2年間の任期とする新体制となって最初の区政会議となります。区政会議は区民の方々が区の行政運営に参画する仕組みです。区長が区の行政運営にあたって、計画段階から幅広い分野の区民の方々の意見を伺い、施策を推進していくこととしています。

また、この会議ではテーマに基づいて、3つの部会を設けております。1つはにぎわい・きずな部会、それと子ども・教育部会、最後に保健福祉部会です。以上3つの部会を設けて、委員の皆様にはいずれかの部会に所属していただいております。

次に、委員の皆様を紹介させていただきます。本日は時間の都合がございますため、資料に基づきまして名簿の確認で出席者の皆様の紹介にかえさせていただきます。お配りしております資料2をご覧ください。にぎわい・きずな部会、子ども・教育部会、保健福祉部会の順となっております。

続きまして、会場の配置についてご説明します。資料1配席図をご覧ください。本日は部会ごとに着席していただいております。入り口より一番遠い席よりにはぎわい・きずな部会。真ん中が子ども・教育部会。入り口側が保健福祉部会です。

続きまして、区役所職員の紹介ですが、こちらも先ほどと同様に資料の確認をしまして、紹介にかえさせていただきます。お配りいたしております資料1-1配席図をご確認ください。

続きまして、会議の進行に当たっての注意事項を申し上げます。

まず、当区政会議は、条例により公開することとなっておりますので、ご了承をお願いします。

また、区役所で区政会議の記録を残しておくため、広報担当者を決めております。広報担当者によりまして会議中の撮影につきましては、ご了解いただきたいと存じます。また本日の会議内容は、後日、議事録を公開する予定でございます。

最後に、皆様に今一度お願い申し上げます。携帯電話は電源をお切りいただくか、マナーモードにさせていただきますようお願いいたします。また会場内での通話をご遠

慮いただきますようあわせてお願いいたします。

ただいまご説明申し上げた中にもございましたが、10月1日から新体制となったことに伴いまして、区政会議の議長、副議長を新たに皆様の中からお選びいただくことになっております。どなたか推薦などありますでしょうか。

○藤溪委員 失礼します。議長に米原委員、副議長に羽鹿委員を推薦させていただきます。

○事務局 ただいま藤溪委員から議長としまして米原委員。副議長としまして羽鹿委員のご推薦がございましたが、皆様いかがでしょうか。

(承認者拍手)

ありがとうございます。異議なしの拍手がございましたので米原議長、羽鹿副議長の二人につきましては、今期2年間よろしくお願ひしたいと思ひます。

それでは、以降の進行は米原議長と羽鹿副議長にお願ひしたいと思ひますので、どうぞ中央の席にお座りください。

では米原議長、議事進行の方よろしくお願ひいたします。

○米原議長 皆さんこんばんは。ただいまご推薦いただきました米原でございます。羽鹿副議長ともども、頑張つて務めてまいりたいと思ひますので、どうかよろしくお願ひいたします。

では羽鹿副議長からも一言よろしくお願ひいたします。

○羽鹿副議長 皆さんこんばんは。ただいまご推薦いただきました羽鹿でございます。米原議長とともに皆さんの意見を引き出せるように努めてまいりたいと思ひますので、何とぞよろしくお願ひいたします。

○米原議長 ありがとうございます。議事進行にあたりまして、限られた時間ということもございませぬので、皆様方のご協力もいただきながら、円滑に進めてまいりたいと思ひております。よろしくお願ひいたします。また皆様は10月1日から区政会議で意見を述べるという業務を区長から委託された立場におられます。ご発言される

際は挙手でその意思を表明していただいた上で、僭越ながら私の方でご指名させていただきます。まずお名前をお伝えいただいて、それからご意見というルールでお願いします。

それでは平成29年度第2回東成区区政会議の議事に入ります。

本日の議題は、平成30年度の東成区運営方針（素案）についてとなっています。

麻野区長、説明をお願いいたします。

○麻野区長　私の方からまず導入としまして、今回素案の策定に際しましての基本的な考え方ですとか、柱となる経営課題の説明をさせていただきたいと思います。

お手元にも資料をお配りしていると思うんですけど、1つ目のスライド、経営課題の柱ということで挙げさせていただいております。1つ目が安心・安全なまちづくり、それから子育て・教育の支援の充実、3つ目が地域福祉と健康づくり、4つ目がまちの魅力向上となっております。

1つ目の安心・安全。これは要は防災ということなんですけども、防災に関しましては避難所運営ですとか、災害時協力企業の協力促進。それから交通安全に関しまして自転車の安全啓発、防犯カメラ等を中心に事業を展開してまいります。

2つ目は子育て・教育なんですけども、東成区は子育てでいろいろな取組みが非常に充実している町だというふうに自負しております。すくすく・つながるクラブですとか、さんぽっぼなどボランティアさんの活動を中心に、これをますます拡充してまいりたいと、このように考えておるところでございます。

教育につきましても、区内11の小学校、4つの中学校と連携をとりながら、学力・体力の向上といった基本的な施策をしっかりとやっていくとともに、国際理解協力やプログラミング教育、こういった先進的な取組みを地域の皆さん、あるいは企業さん、やる気のある方々と連携して進めていきたいと考えております。

健康・福祉に関しましても、地域包括ケアシステムを軸にしまして、あるいは医師会さんをはじめ、専門職の皆様との連携を強化しまして、地域での福祉ネットワーク、

特に高齢者の方に対するインフォーマルとフォーマルのケアサービスの連携、あるいは統合といった課題に取り組んでいるところでございます。

4つ目のまちの魅力に関しましても、地域活動の担い手の多様化といたしまして、自然体で取り組んでいる大きなテーマですけれども、こちらに積極的に区としても取り組んでいるところでございます。地域企業さんの地元貢献への側面支援あるいは地域の皆さんのコミュニティビジネス、ソーシャルビジネス等々の新しい取組みへの支援を強化していきたいと、このように考えているところでございます。

それから2つ目ですけれども、市政改革プラン2.0（区政編）というのがございます。これはこの8月に昨年から市全体で取り組んでおりました市政改革プラン2.0の区政編というのが策定されております。従来、5つ目の柱として運営方針に立てられてました区役所づくり、区役所のサービス向上のところですが、こちらは今回区政編の方に整理されております。24区共通で取り組む事項ですので、詳細は省略させていただきますけれども、2つだけ区民サービスの向上とマルチパートナーシップというところだけ、お話をさせていただきたいと思っております。

1つ目の区民サービスの向上についてですけれども、前回の区政会議でうちの形になっている番号札をお褒めいただいております。私ども区役所の若手を中心に区民サービス向上プロジェクトというものを結成しております。業務改善に取り組んでいるところでございます。皆様からのアイデアもいただけたらというふうに考えております。

それから2つ目のポツですけれども、情報発信力を強化していこうと考えております。9月にはケーブルテレビのジェイコムウエスト大阪セントラル局と提携協定を結んでおりました。地域の行事や活動の様子などを随時配信しているところでございます。ご覧になった方も多いかというふうに思っております。

また、報道に出てますけれども、11月にはこちら大阪市と吉本興業（株）の連携なんですけれども、協定を結んでおりました。各区に住みます芸人というものが配置さ

れておるところでございます。東成区は2人のうち1人が深江出身の村一番という若手の漫才コンビが担当ということで、こちらも皆様とコラボできるような機会を持つようにいろいろ考えているところでございます。

次のページにいきまして、マルチパートナーシップというテーマですけれども、こちらは多様な方々、例えば新しくまちに引っ越して来られた方、学生さん、企業さん。こういったこれまで地域活動にあまり参画されていなかった方、あるいは大学ですとか他の行政機関、外部の機関等々と連携しながら地域活動を活性化させていこうという動きでございます。東成区は面積当たりの企業さんの数が24区でトップクラスでございますけれども、経営者の方ですとか、従業員の方が東成区の方というケースも多くございまして、企業さんとして地域貢献したいと。あるいは学校との連携を図りたいと。そういう声を伺っております。前回の区政会議でも民間企業の活力をもっと活用しなさいというコメントもいただいております。企業さんも企業区民として位置付けの中で、地域の活動に参加してもらおうような仕組み作りをこのように考えているところでございます。

次のページ、図を書いておりますけれども、地域の皆さんですとか団体の皆さん、学校や地元企業、また専門職の方、多様なパートナーが互いにつながることによって福祉ですとか、環境、教育、防犯、防災と言った様々な課題に取り組んでいく。このような取組みとか仕組み作り、このつながりを支援していくのが区役所の役目だというふうに考えているところでございます。

最後になりますけれども、皆さんがふだんから行っていただいております地域活動と万博のテーマを少しお話させてもらいたいんですけれども、先般来、日本政府それから大阪府、大阪市、産業界、経済界が連携しながら、2025年の万博の大阪招致を行っております。2025年の万博招致に当たってはSDGs（エス・ディー・ジーズ）というのをテーマにしておるところでございますけれども、このSDGsというものですが、ここにちょっと図が出てますけれども、2030年に向けて世界が合意した

「持続可能な開発目標」と、英語で言いますと、Sustainable Development Goalsと言いますけれども。これは2015年に国連で採択された世界が持続的に発展していくためにどういった点に注意していかなくてはいけないんですかということ、17の項目にまとめたものなんです。環境ですとか貧困ですとか平和ですとか経済成長といったテーマがあるんですけど、右側には4つ、我々にも親しみやすい項目を載せておまして、健康、福祉ですとか、まちづくり、あるいは環境、それからパートナーシップ。こういったことを掲げておりますけれども、こういったその持続的に世界が発展していくための目標というのは、私たちが日常行っている地域活動ですとか社会貢献と全く同じでございます。皆様の地域活動がSDGsという国連の国際的な目標にも合致しておりますし、それがまた万博の誘致につながっていると。ちょっと大げさかもしれませんが、皆様の地道な活動がこういった公共的な、普遍的な価値があると。そういうところを少し念頭に置いていただくことで、また地域での活動の活性化につながるのではないかなと考えております。先ほども申し上げましたとおり、いろんなところで発信を努めておりますので、またご興味ある方、お時間あるときに見ていただけたらというふうに考えております。

ご清聴ありがとうございました。

(拍手)

○米原議長　ただいま、麻野区長より平成30年度東成区運営方針（素案）についての総括説明がありました。本日は、来年度の区政運営の方向性について考えていく大切な場となります。皆様方から忌憚のないご意見、またできるだけ前向きなご意見をいただき、有意義な会議にしていきたいと思っております。

まず、会議の進め方について申し上げます。これから全体会議を一時休会し、約1時間程度の部会において、勉強会と意見集約を行っていただきます。そして全体会議の再開後、各部会の意見を部会長から報告していただきます。部会での意見交換が活発になるよう区職員の方が議論のサポートに入っていただければと思います。なお、

この会場には仕切りがありませんので、お隣の意見も耳に入るかと思えます。そこでできるだけ部会どうしの座席を離すことで、皆様に集中して意見交換をしていただきたいと思います。恐れ入りますが、子ども・教育部会の皆様につきましては、資料をお持ちの上、会場奥の座席に移動していただきますようお願いいたします。

それでは、ここで全体会議を一時休会して、部会へと移らせていただきます。では進行を事務局に一旦お返しいたします。

○事務局　それでは各部会の議長及び副議長選出までの間、事務局の方で進行を務めさせていただきます。

冒頭の説明にもございましたが、10月1日から新体制となったことに伴いまして、各部会の進行役となります議長、副議長についても新たに皆様の中からお選びいただくことになっております。これから各部会において議長、副議長の選出をお願いいたします。事務局が補助に入ります、しばらくお待ちください。

<各部会に分かれて進行>

※各部会議事録を参照

○事務局　それでは以降の進行を議長にお任せします。議長、副議長お二人には、前の席にお戻りください。

○米原議長　皆様、熱心な意見交換をしていただきまして、ありがとうございます。た。

ただいまより全体会議を再開し、部会報告に移らせていただきます。それでは先ほどの部会において話し合った内容を各部会長からご報告をお願いします。

まずは、にぎわい・きずな部会から藤溪議長よろしくをお願いします。

○藤溪議長　失礼します。経営課題の1番は、安心して安全なまちづくりということになっておりまして、災害と防犯、この2点が話し合われました。まず課題1の災害

の方ですが、やはり住民と企業との協働ということが大事だということで、できるだけ多くの災害時の協力企業を拡充していくということで、区役所の方が今PRしていただいているんですけども、地域住民のそれぞれの校区内の企業に行って、協力を依頼するというのもやらないといけないんじゃないかということがありました。これ、地域も考えてということでもあります。

それからもう一つは防犯の件ですが、防犯カメラの設置に皆意見が集中しました。やはり財源には限りあるそうで、どんどん増やせと言われても増やせるものではないんですね。私たちは企業の方でも設置されているので、できれば1か所とか2か所に集中するのではなくて、バランスよく、防犯カメラを今後設置していくべきでないかということで、やはり防犯カメラマップをもとにして、全然カメラが設置されていないところは次のときは重点的にやっていくとか、こういったマップに基づいてバランスよく設置をしていくべきじゃないかという意見になっています。

それから課題4がまちの魅力づくりと言うんですかね、レジユメにもありましたように、このひがしなり企業区民連携フォーラムの運営、これを推進していくべきであると、こういうことになっております。これらの企業と地域の連携、それが地域の方の災害時の協力企業へと結びついていくんじゃないかということですね。

それから、子どもから保護者まで、できればこういった東成区にあるたくさんの工場見学などを通じて、また連携を深めていけたらということになっています。いろいろ例があるんですけども、工場見学、これもなかなか難しいのではないかという意見もありました。工場運営中に子どもさんたちが来ると危険があるとか、土曜日とか夏休みとか、そういった声も出ておりましたが、この辺はちょっと今後地域と企業とで話しながら一番いい見学の方法を考えていけたらと思っています。

大体そういうふうな意見が、時間がオーバーするまで話し合われたことをご報告しておきます。以上です。

○米原議長      ありがとうございました。

次に、子ども・教育部会から田中議長よろしく申し上げます。

○田中議長 子ども・教育部会です。良好な教育環境づくりということについて、最初にお話をさせていただきました。1つは、家族の絆というエッセイを書いて発表している校下がございます。それは小学生、そして中学生が一緒になってここで発表している。自分の親のこととか、ありがたかったこと、悲しかったこと、全てエッセイにして書いておられる。こういう発表はどんどん東成区に増えていけばいいんじゃないでしょうかということで、今、社会を明るくする運動というのがございまして、そのときに中学生には非行防止とかという題目で書いていただいております。そういうようなことも進めていけばいかがでしょうかと。

それと2番目に出ましたのは、学校との連携を深くとる。大学とか企業の社会貢献をお願いして、授業の終わった後にちょっと教えていただくとか、家庭教師ではないんですけど、そういうことをしていただくような人を募集したらいかがでしょうか。

3番目なんですが、今までやっておりますのは、学校を中心にスポーツが多いということなんで、今後は文化系のそのような行事を取り入れていきたいなど、このように思っております。

それから大きな2つ目の話題なんですが、地域社会全体で子育て家庭を支援する環境づくりということでございます。現在、ひがしなりっ子すくすく・つながるクラブというのがございまして、活動はされておられるんですけども、なかなか浸透は。また十分できてるところもあるみたいなんですけども、地域社会で地域福祉活動、サポーターの活用をもう一度お願いすればどうかということと、このリーフレット、こういうものがあるのならば、こういう広報紙を小児科とか保健福祉センターとかに置いていただければ、もっとお母さん方の目につくんじゃないでしょうかという意見がございます。

それと何かこういうカードがあるみたいで、このカードに入りますと、今東成区で協賛していただくお店が21軒ございまして、1割引とか、そういうようなことをし

ていただく後援があるということなんで、この店舗を増やしていただくと、この「まいど子どもカード」がもうちょっと普及するんじゃないかということでございます。今、フェイスブックとかホームページ、メールマガジンとか子育てサークル等で情報を発信しておりますけども、なかなか今日おられるメンバーで、こういう子どもの東成区のようなことがご存じじゃない方もおられると思います。いま一度、皆さんもご理解、お調べいただきまして、ご協力お願いしたいと思います。以上でございます。

○米原議長　　ありがとうございました。

最後に、保健福祉部会から石塚議長、よろしく申し上げます。

○石塚議長　　経営課題3、地域福祉と健康づくりの充実・推進ということでテーマが全部で7つありましたけれども、その中で実際、議論が活発になったのはこの3つで、その中でも特にかぎ預かり事業ですか、緊急時安否確認かぎ預かり事業の実施について特に委員の意見が集中しました。いろんなご意見出たんですけども他人にかぎを預けることの抵抗感がありますとか、すぐにかぎを取り出せるのは、やっぱり近所の人に預ける方がすぐに取り出せて、この事業はなかなか警察の専門職が動かないと取り出せない、そういう利便性の問題もあったと。それから、このかぎ預かり事業で今までつながってる、地域とのつながり、それを補完するものにしてほしいということ。それとまた個人でのかぎの預かりには、すごくやっぱり負担感とかがあって、それがいいのかどうか躊躇する場合もあると、そういう意見も出ました。この制度というのは、地域のつながりを、外にある人のために、いろんな方、社協とか地域包括とかランチとか、それから協力している24時間開いている施設、それが協働して、あと警察が皆さん動いて出すというふうな事業で、地域のつながりを持つためには重要な事業じゃないかなということも出ました。ただ問題として、周知がやっぱり十分できてない。それから高齢者はなかなかかぎを預けることに踏み切れないとか、それから説明にしてもよくわからずにスルーしてしまうとか、そういうようななかなかこの

事業そのものは周知が難しい。そういうような問題もいろいろ出ています。あと最後につながりますけども、やっぱりこういったものは日ごろから近所につながりもすごく大事じゃないかなというふうな部分がやっぱり一番、最後の結論としては出ております。

それから次におまもりネット事業の個別周知や、区内イベントなどでの周知、啓発ということで、やっぱり拒否される方も随分多いみたいです。地域によってたくさん加入された方、それからあんまり入られない方もいらっしゃいます。情報の更新は十分できてないところもあるし、ちゃんとやれてるところ、やっぱりこれも地域によってばらつきがあるようです。ある地域では敬老会で周知して、元気なうちに登録をしてください、と頑張っているところもあります。それからまた、他の方法として連絡先等を名簿化するとか、そういった情報を管理しているということをしちっと外から入ってきた人に見えるようなことも必要ではないかというご意見が出ました。この周知にしても、さっきのかぎ預かり事業にしても近所の人は大変ですけども、地域がやっぱりその気になって進めていかないと、なかなかこういうものはきちっと周知、普及できないんじゃないかというご意見がありました。

それからさっき3点言いましたけども、食育大事ですから、今日たくさん意見が出過ぎて時間はないと思います。ぜひまた、やっていただきたいということで高齢者の食育についても食事を通して見守り活動という側面もありますので、これも大事なことやということでちょっと意見が出てます。

それから、あと最後になりますけども特定健診の受診率向上に向けた普及・啓発ということですけども、国民健康保険に加入している人でも20%しか受診率がないので受診率が悪い、特に普段病院とかにかかっていると受診してもらえてないん違うかということで、これが一つの大事なポイントだというふうに思うんです。またご意見として、病院に行っていない人にものみ、案内を送付する制度もいいんじゃないかというご意見も出ました。それから病院にかかっている人には、健診は不要と思うという意見も

出てます。どちらにしても私たちの地域福祉とか健康福祉とかいうのは、やっぱり日ごろから地域がどれだけつながっているか、地域力がやっぱり一番大事な部分じゃないかということで最終結論になっております。ありがとうございます。

○米原議長　　ありがとうございました。

皆さん、ただいま一通り各部会からの報告を聞いていただきましたが、他に追加するご意見やご質問などはございませんでしょうか。

ないようです。

本日は各部会からのご意見を聞かせていただくことで、広く区政の現状と課題、それに対する委員の皆様の思いがしっかり伝わりました。ほんとうにありがとうございました。私からは以上です。

何か副議長からも一言いただけませんか。

○羽鹿副議長　　各部会の議長さん、副議長さんスムーズな進行をしていただきまして、ありがとうございます。これによって活発なご意見が出たと思います。この貴重なご意見を区政にも反映していただけるとと思いますので、よろしくお願いします。

○米原議長　　ありがとうございました。それでは閉会の時間が迫ってまいりましたので、そろそろ本日の区政会議を終了したいと思います。

本日出されました意見について、区役所の方でもしっかりと検討して、区政に反映していただき、東成区の区政運営をよりよい方向に進めていきたいと思っております。

それでは、進行を区役所にお返しします。円滑な議事運営にご協力いただき、ありがとうございました。

○麻野区長　　それでは、最後に私の方からご挨拶させていただきたいと思っております。本日は米原議長をはじめ、委員の皆様、大変遅くまで、非常に活発なご議論いただきまして、ほんとうにありがとうございます。途中、新しい方になりましたので事務局の進行等々スムーズじゃないところもございましたけれども、私も含めましておわび申し上げます。次回はもっとスムーズになるように改善を進めてまいりたいと思っております。

おります。本日は先ほどほんとうに非常に貴重なご意見、有用なご意見いただきました。おほめの言葉、叱咤激励のコメントいただきました。当区としても身が引きしまる思いで、ますます頑張っていかなきゃいけないなと思っておる次第でございます。ほんとうに皆さん遅くまでありがとうございました。またよろしく願いたします。

○事務局　　次回の区政会議は2月中旬から3月にかけての開催の予定でございます。日程が決まり次第、ご連絡させていただきますので、ご出席のほどよろしく願いたします。

では、これをもちまして平成29年度第2回東成区区政会議を終了いたします。本日は誠に疲れさまでございました。